

[専門教育科目/看護の展開/成人看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
成人看護援助論Ⅱ	NSP22_004	必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小林 美雪 他	407	m.kobayashi	振り返り用紙及び授業中の Teams による質問等の受付		
授業の目的・概要	近年、わが国においては、高齢化の進展及び生活習慣の変容により慢性的な経過をたどる健康障害のある人が急増している。このような対象のセルフケア能力の維持・向上への看護や終末期にある人がそとらしく生活するための看護について、家族看護も含めて理解することを目的とする。授業は事前課題を基に行い、課題提示による事例検討、遠隔授業による演習のデモンストレーションにより理解を深める。学習効果は、定期試験、課題レポート、振り返り用紙により判定する。				
学習上の助言	成人看護学概論および専門教育関連科目で学修した知識が前提となるので、事前に復習しておくこと。また疑問点は、授業中や振り返り用紙での質疑応答で解決できるようにすること。				
教科書	経過別成人看護学③慢性期看護 / 編:黒江ゆり子 / メヂカルフレンド社 / 2017 1・2 年次使用教科書 ① 専門分野(2)成人看護学<2> 第 15 版 呼吸器(系統看護学講座)/医学書院 ② 専門分野(2)成人看護学<3> 第 15 版 循環器(系統看護学講座)/医学書院 ③ 専門分野(2)成人看護学<4> 第 15 版 血液・造血器(系統看護学講座)/医学書院 ④ 専門分野(2)成人看護学<5> 第 15 版 消化器(系統看護学講座)/医学書院 ⑤ 専門分野(2)成人看護学<6> 第 15 版 内分泌・代謝(系統看護学講座)/医学書院 ⑥ 専門分野(2)成人看護学<8> 第 15 版 腎臓・泌尿器(系統看護学講座)/医学書院 ⑦ 専門分野(2)成人看護学<11> 第 15 版 アレルギー・膠原病等(系統看護学講座)/医学書院				
参考書	系統看護学講座別巻 がん看護学 / 著:小松浩子 他 / 医学書院 / 2017				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	慢性的な経過をたどる健康障害のある人及び家族の理解と看護の考え方が分かる		HSU(1) NS(1)(2)(3)		
②	慢性的な経過をたどる健康障害のある人の治療・検査の看護が説明できる		NS(1)(2)		
③	慢性的な経過をたどる健康障害のある人及び家族のセルフケアへの看護が説明できる		NS(2)(3)(4)		
④	がん看護の基本的な知識と看護について説明できる		NS(1)(2)(3)(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	慢性的な経過をたどる健康障害について学ぶ(慢性疾患とは、慢性呼吸不全、高血圧・慢性心不全、糖尿病、慢性腎臓病)(課題①～⑥)	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	慢性期看護の主な考え方を学ぶ。	1	
2			慢性期に多い疾患を理解する。	2	
3	慢性的な経過をたどる健康障害について学ぶ(肝機能、消化器機能、がん、血液疾患)(課題⑦～⑩)	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	慢性期に多い疾患を理解する。	2	
4	ガイドランス/慢性的な経過をたどる健康障害のある人と家族の看護の概要について学ぶ	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行う。	1	
5	慢性的な経過をたどる健康障害のある人と家族の理解と看護の考え方(病みの行路・軌跡等)を学ぶ。	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行う。	1	
6	慢性的な経過をたどる健康障害のある人と家族の理解と看護の考え方(危機モデル/セルフケア/多職種連携等)を学ぶ。	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行う。	2	
7	慢性的な経過をたどる健康障害のある人と家族へのセルフケア教育について学ぶ。	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行う。	1	
8	慢性的な経過をたどる健康障害のある人の検査・処置に伴う看護を学ぶ。	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行う。	0.5	
9	慢性的な経過をたどる健康障害(慢性呼吸不全)のある人の看護を学ぶ。	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した課題を行う。	0.5	
10	慢性的な経過をたどる健康障害(慢性呼吸不全)のある人の看護を学ぶ。一事例を通して看護を考える一	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	1	

[専門教育科目/看護の展開/成人看護学]

11	慢性的な経過をたどる健康障害(高血圧・慢性心不全)のある人の看護を学ぶ。	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	0.5
12	慢性的な経過をたどる健康障害(高血圧・慢性心不全)のある人の看護を学ぶ。一事例を通して看護を考える一/慢性的な経過をたどる健康障害(慢性呼吸不全/高血圧・慢性心不全)のある人の看護のまとめ	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	1
13	慢性的な経過をたどる健康障害(血液疾患)のある人の看護を学ぶ。	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	0.5
14	慢性的な経過をたどる健康障害(白血病)のある人の看護を学ぶ。一事例を通して看護を考える一	印刷教材とメールによる質疑応答での双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	1
15	慢性的な経過をたどる健康障害(慢性腎臓病)のある人の看護を学ぶ。	同時双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	0.5
16	慢性的な経過をたどる健康障害(慢性腎臓病)のある人の看護を学ぶ。一事例を通して看護を考える一	同時双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	1
17	慢性的な経過をたどる健康障害(肝機能障害)のある人の看護を学ぶ。	同時双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	1
18	慢性的な経過をたどる健康障害(肝機能障害)のある人の看護を学ぶ。一事例を通して看護を考える一	同時双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	1
19	慢性的な経過をたどる健康障害(糖尿病)のある人の看護を学ぶ。一事例を通して看護を考える一	同時双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	1
20	慢性的な経過をたどる健康障害(糖尿病)のある人の看護を学ぶ。一自己採血測定・インスリン自己注射一の実施とまとめ	放送授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	2
21	慢性的な経過をたどる健康障害(膠原病)のある人の看護を学ぶ。	同時双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	1
22	慢性的な経過をたどる健康障害(膠原病)のある人の看護を学ぶ。一事例を通して看護を考える一	同時双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	1
23	慢性的な経過をたどる健康障害(消化器疾患)のある人の看護を学ぶ。	同時双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	1
24	慢性的な経過をたどる健康障害(消化器疾患)のある人の看護を学ぶ。一事例を通して看護を考える一	同時双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	1
25	慢性的な経過をたどる健康障害(糖尿病/慢性腎臓病/肝機能障害/血液疾患/消化器疾患)のある人の看護のまとめ	同時双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	1
26	慢性的な経過をたどる健康障害(がん疾患)の特徴と治療について学ぶ。	同時双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	0.5
27	慢性的な経過をたどる健康障害(がん疾患)に罹患した人の看護の特徴を学ぶ。	放送授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	1
28	慢性的な経過をたどる健康障害(がん疾患)に罹患した人の看護の特徴を学ぶ。一事例を通して看護を考える一	同時双方向型授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	0.5
29	慢性的な経過をたどる健康障害による終末期にある人の看護について学ぶ。	放送授業	授業内で提示した事例の課題を行う。	0.5
30	慢性的な経過をたどる健康障害による終末期にある人の看護について考える。(緩和ケア認定看護師と語る)	同時双方向型授業	最終レポートに取り組み。	2
試	定期試験			

[専門教育科目/看護の展開/成人看護学]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		50	50	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	40	20	0	0	0	60	
	思考・推論・創造する力	10	30	0	0	0	40	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価の方法		評価のポイント				フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	前期末の定期試験を実施し、総合評価の50%として評価する。なお、試験への「教科書持ち込み」は不可とする。				試験後に振り返りを行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
レポート	①	✓	事前課題、課題レポートについて、総合評価の50%として評価する。				授業中および試験後に振り返りを行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
備 考								
<p>担当教員：◎小林美雪 吉岡睦世</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Teams を使った同時双方向型授業および印刷教材とメールによる質疑応答での授業を行います。</li> <li>・ Teams を使った同時双方向型授業に際しては、通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨いたします。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられますが、その際は随時、お知らせいたします。</li> </ul> <p><b>教員の実務経験：</b> 看護師として、23年の臨床経験、看護系大学教員として、13年勤務</p> <p><b>実践的授業の内容：</b> 実務経験のある教員の指導のもと、慢性期看護について理解を深める。 教員の経験から慢性期看護の実践事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。</p>								